

No. 1008

ハイセイコー10連勝

—NHK杯—

ダービー最後のトライアル第21回NHK杯は5月6日、17万のファンを集めて府中の東京競馬場で行なわれました。

距離2,000m出走馬14頭、第1本命は、これまで9連勝のハイセイコー。

一斉にきれいなスタート。内々をゆくハイセイコー。三コーナーから四コーナーにかけてもインコースを走るハイセイコーは6番手。カネイコマを先頭に最後の直線にはいった時、内に包まれ伸び悩んでいる。

依然として伸びないハイセイコー。ファンも「ハイセイコーが敗れる。」と思った瞬間、最後の1ハロンで先行する5頭に並びかけ、ゴールイン。

写真判定の結果、カネイコマを頭だけ離して一着。タイム2分2秒3。冷や汗の勝利ではあったが、あらためてハイセイコーの強さを見せつけたNHK杯。10連勝を飾り、ダービーへ大きく近づきました。

ソ連、新生日本を破る

—日ソ対抗バレー—

日ソバレーボール協会、東京中日スポーツ、東京新聞主催、日ソ対抗バレーボール試合の第一戦、全日本×全ソ連は7日午後6時から東京・千駄谷の東京体育館で行なわれました。

試合に先だちトロヤノフスキー・ソ連大使夫人がバレーボールでは珍しい始球式を行ない、両チーム選手が記念品を交換し合いました。

全日本はミュンヘン・オリンピックの陣容から大きく若返り、ソ連はブルダコワ、リスカル、スモレーワらベテラン主体という対照的なチームの対戦。

第一セットは全日本が調子の出ない、ソ連を攻めつけて取りましたが、ソ連は第二セットをジュースの末、ものにしてから強打、ブロック力を発揮、粘る新生日本を3-1で下しました。